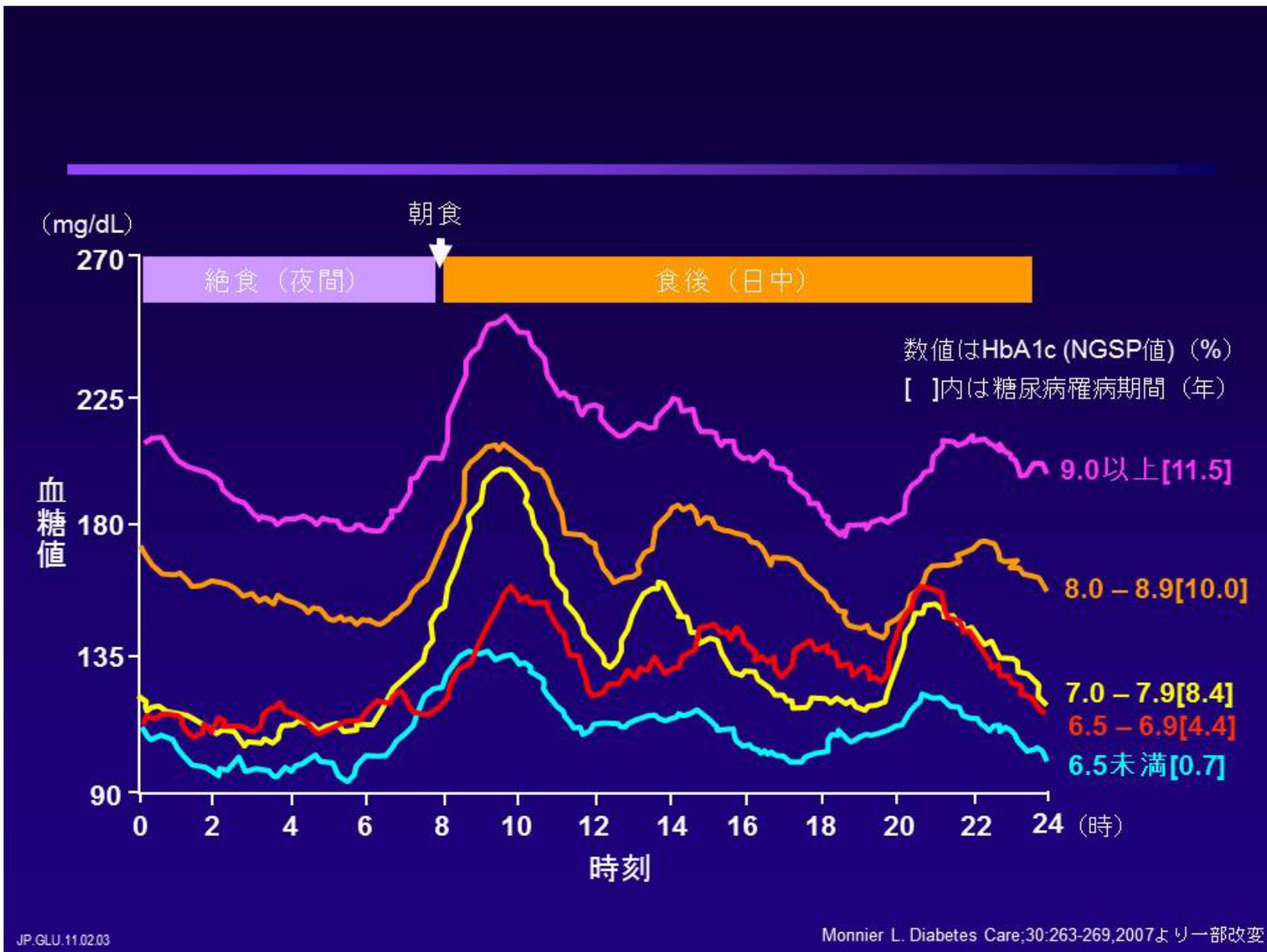


きょうの健康 要約版

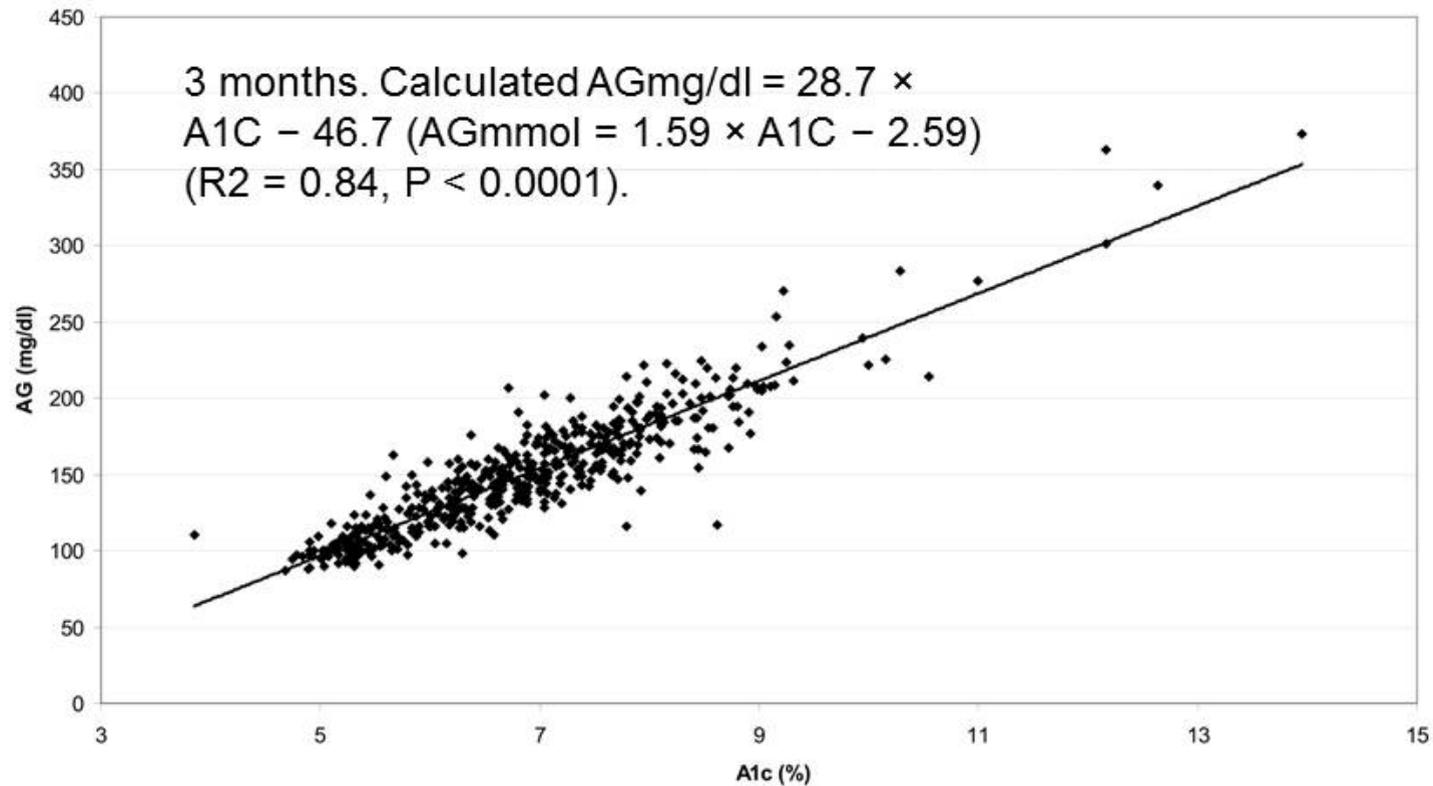
心臓病センター榊原病院

糖尿病内科 部長 清水 一紀



2型糖尿病患者 130 例を対象に、糖尿病の進行と 1 日血糖プロファイルの関係を検討しました。HbA1c が高くなるにつれて、1 日血糖プロファイルが全体的に上昇しました。また、HbA1c の上昇と糖尿病罹病期間に正の関係があることが示唆されました。

Linear regression of A1C at the end of month 3 and calculated AG during the preceding 3 months.



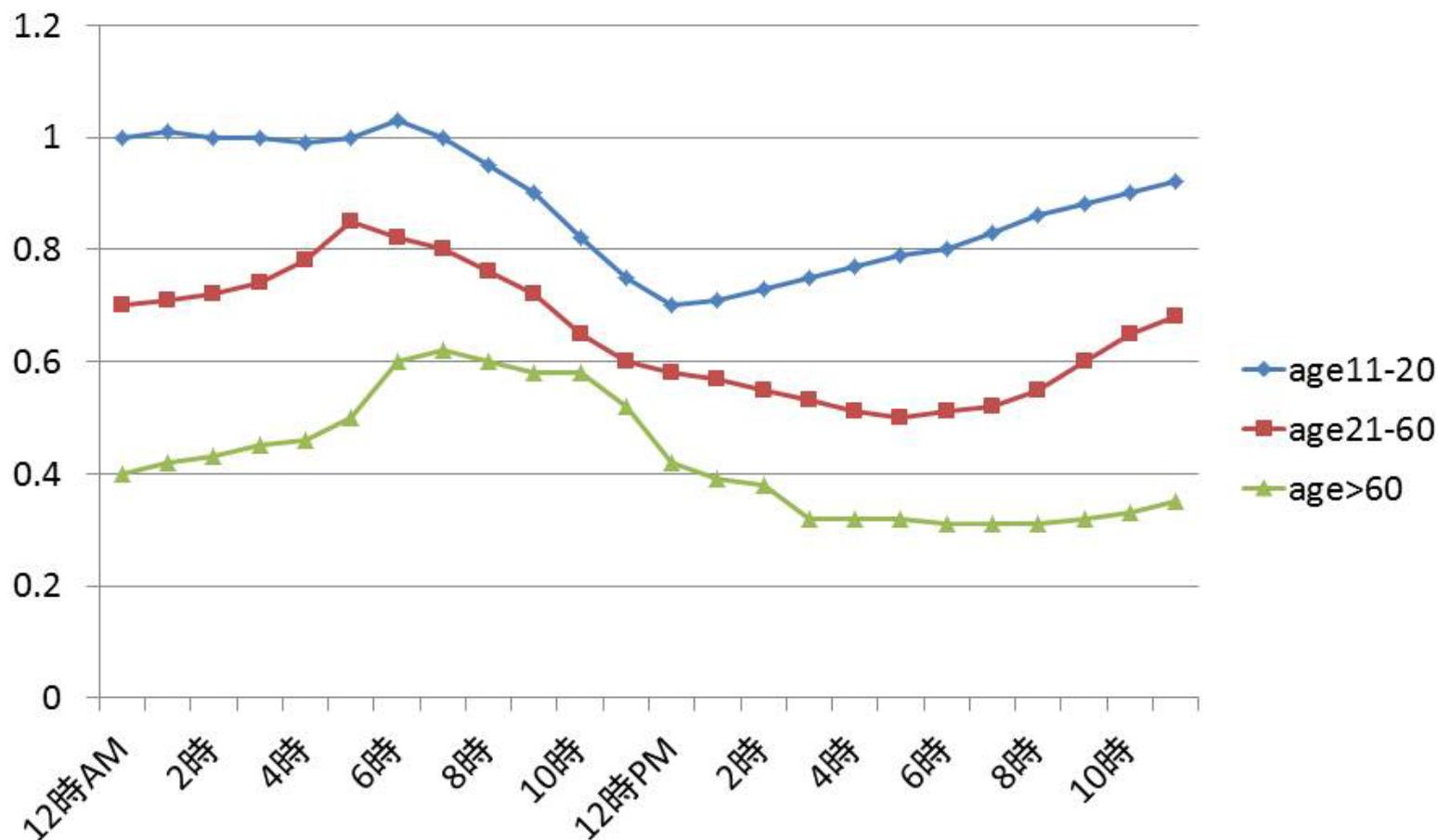
Nathan D M et al. Dia Care 2008;31:1473-1478



Copyright © 2011 American Diabetes Association, Inc.

HbA1cは3か月の平均血糖と関連することが示されています。

年齢により必要な基礎インスリンは違う



Scheiner G., Boyer BA.; DRCP 69 2005, 14-21

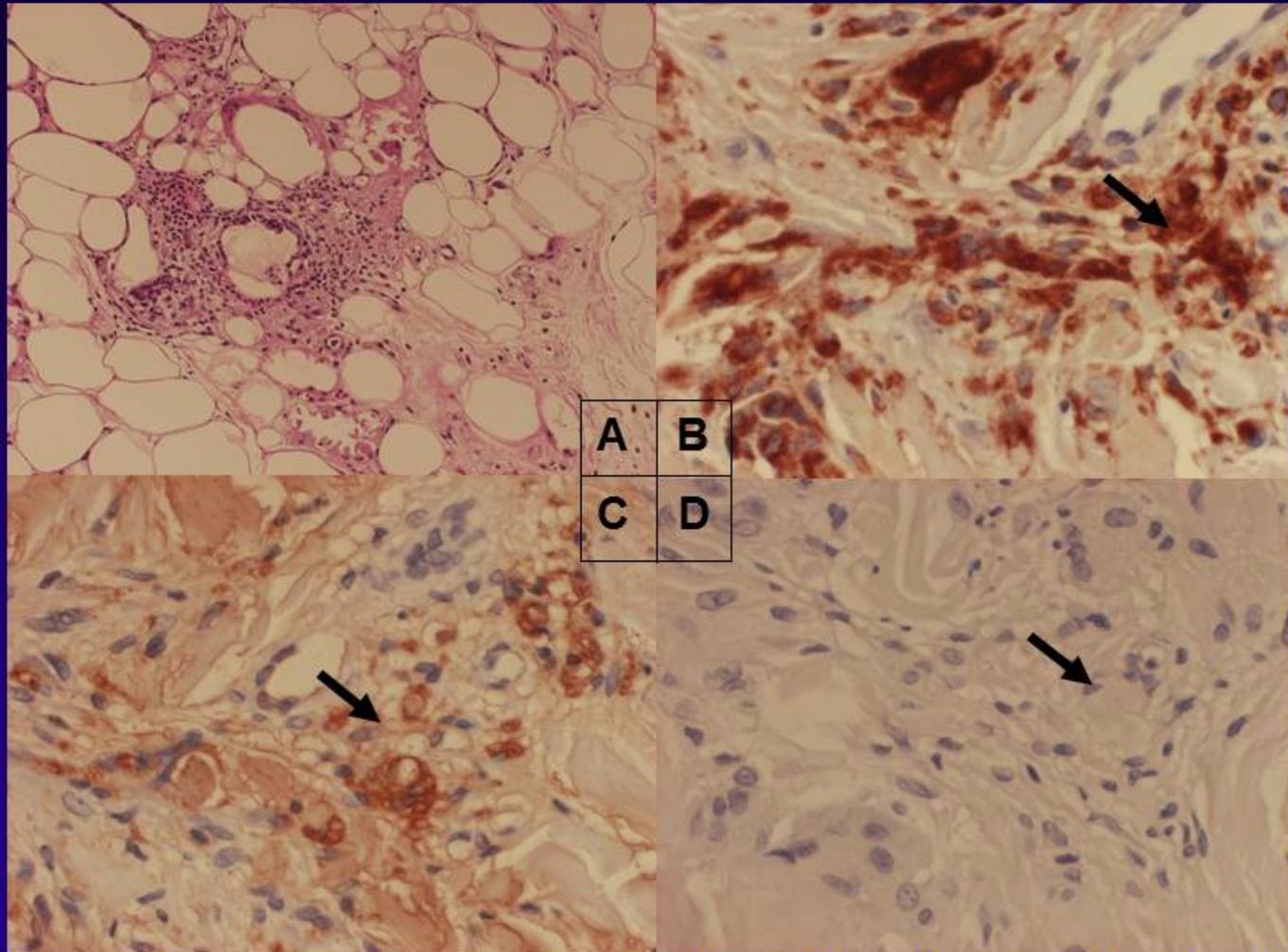
年齢により基礎インスリンの量は変わります

60歳以上の高齢になると基礎インスリン量は思春期の半分以下になります

高齢で基礎インスリン量が多いと低血糖の原因になります

HE stain

CD68



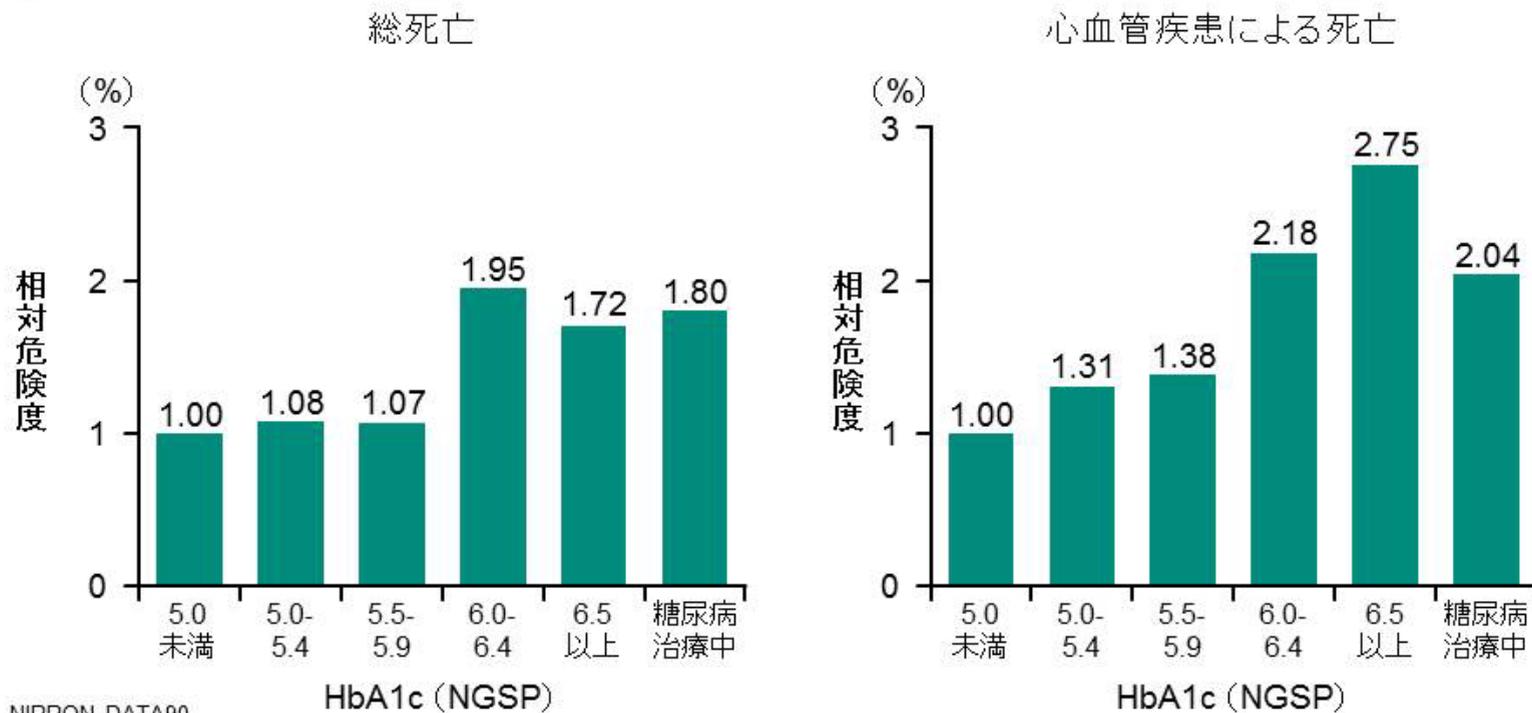
Insulin stain

Insulin absorption test

Ikki Shimizu, et al: Endocrin J 2007 Jul;54(3):477-80.

インスリンを同じ場所に打つと、インスリンの吸収は悪くなり効果が薄れます。
インスリンを繰り返し打った場所では、インスリンが皮下に残っています。(左下図)

HbA1cと総死亡・心血管疾患による死亡との関連



NIPPON DATA90

対 象: 1990年の第4次循環器疾患基礎調査に登録され、無作為に抽出された日本各地の300地区の30歳以上の7,120人(男性2,962例、女性4,158例。平均年齢52.3歳、平均BMIは22.9 kg/m²)。

方 法: 15年間のフォローアップ期間中に心血管疾患が理由で死亡した304例について、HbA1cの数値域(5.0%未満、5.0~5.4%、5.5~5.9%、6.0~6.4%、6.5%以上)でカテゴライズし、相対危険度※を算出した。また、全ての原因を含む死亡(総死亡)1,104例についても同様に相対危険度※を算出した。

※相対危険度は年齢、性別、BMI、喫煙習慣、飲酒習慣、習慣的運動、収縮期血圧、総コレステロール、HDLコレステロール、高血圧治療、脂質異常症治療を調整。

Sakurai M, et al. *Diabetes Care*. 2013; 36: 3759-3765 より作図。

日本人 7120 名を 15 年間のフォローアップ期間中に心血管疾患が理由で死亡した 304 例を HbA1c の数値域 (5.0%未満、5.0 ~ 5.4%、5.5 ~ 5.9%、6.0 ~ 6.4%、6.5%以上) で調べたところ HbA1c が 6%以上だと心血管死亡のリスクが高まることがわかりました。